

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】美咲町](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
47	2011.4.28			岡山県	美咲町	15,642	232.15
構想の要約		美咲町は、町の大部分を山林が占め、林業が盛んであるとともに、棚田米に代表される農業や畜産業が盛んに行われている。それらに由来する林地残材や家畜ふん尿などのバイオマスが豊富に存在しており、バイオマスの活用を図ることで、農林業の振興や雇用の創出、所得の向上等による地域活性化を目指すとともに、農林業と流通販売を統合する経営の多角化など新たな産業の育成を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		①木質バイオマスの導入 ②堆肥・敷料 ③BDF導入 ④バイオエタノール燃料の導入					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物(多収穫米) ○
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油	○	果樹剪定枝		
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材		その他( )		
建設発生木材	○			
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○			
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など	○			
その他( )				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(敷料)	○	炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他( )	

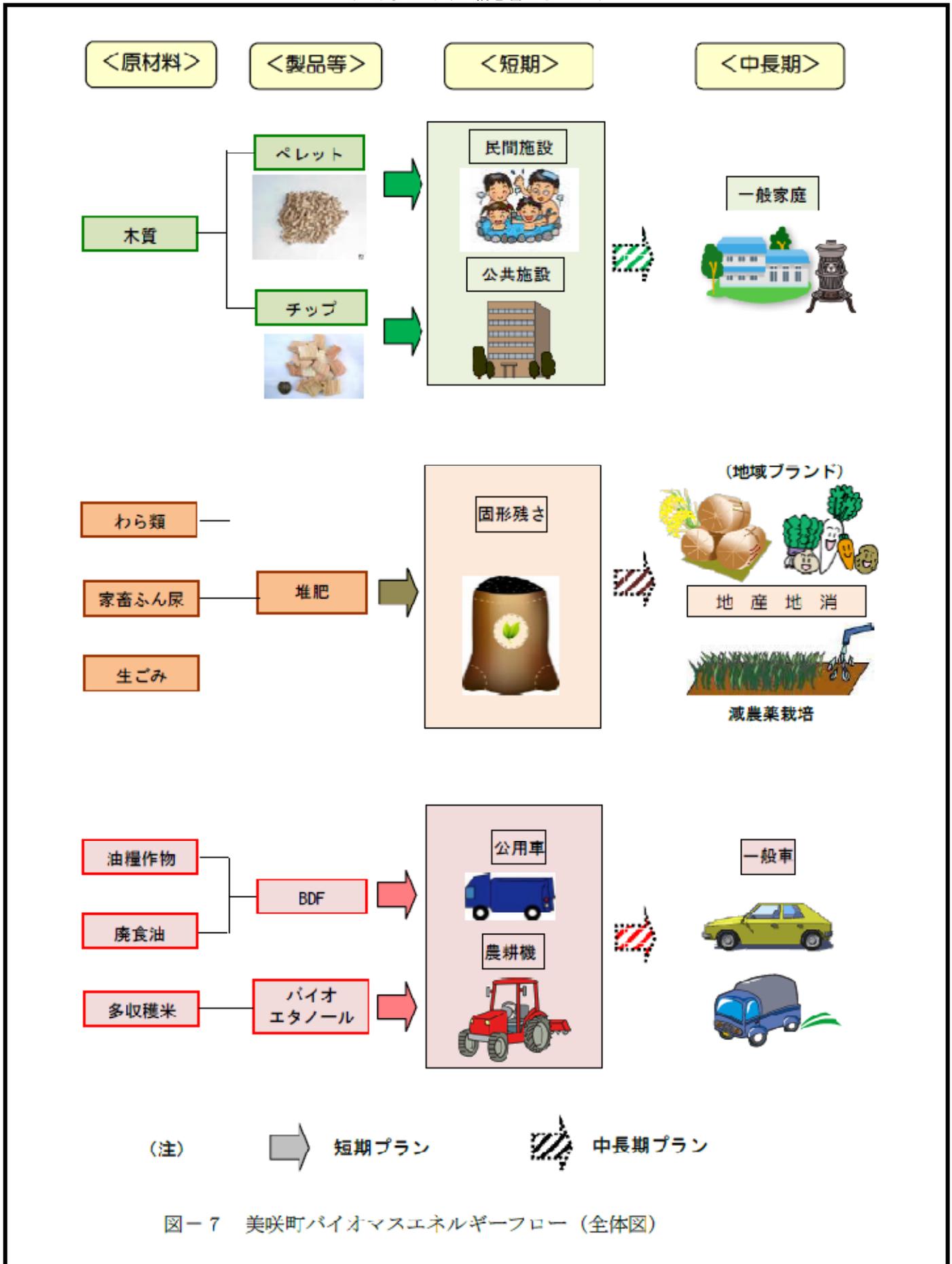
バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2011.05.09	2011.04.28バイオマスタウン構想公表。

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス		賦存量/年 (個別単位)	賦存量 炭素量 (t)	目標仕向量 炭素量(t)	目標:利用率(利用方法)		利用目標/年 (個別単位)
廃棄物系	下水・農集汚泥	9,695 kL	930.7	93.1	10	% (堆肥化)	969.5 kL
	家畜ふん尿	59,830 t	3,570.1	3,213.1	90	% (堆肥化)	53,847 t
	廃材	9,866 m <sup>3</sup>	1,098.8	1,098.8	100	% (燃料化)	9,866 m <sup>3</sup>
	枝葉・草	197 t	43.9	22.0	50	% (燃料化)	98.5 t
	生ごみ・食品廃棄物	1,325 t	58.6	5.9	10	% (堆肥化、燃料化)	132.5 t
	廃食用油	60 kL	38.6	19.3	50	% (BDF化等)	30 kL
	小 計			5,740.7	4,452.2	78	%
未利用系	林地残材	4,084 m <sup>3</sup>	454.8	45.5	10	% (燃料化)	408.4 m <sup>3</sup>
	稲わら	5,302 t	1,518.0	759.0	50	% (堆肥化・敷料)	2,651 t
	麦わら	0	0	0	0	%	0 t
	もみ殻	800 t	229.0	114.5	50	% (堆肥化・敷料)	400 t
	小 計			2,201.8	919.0	42	%
合 計			7,942.5	5,371.2	68	%	

バイオマスタウン構想概要図  
(バイオマスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)